

大分合同新聞社の本

大分の歴史や人物、なつかしい昔の地図、写真、民話などすでに絶版となってしまうたいずれも貴重なものばかりを掲載しています。

購入方法については【お問い合わせ】にご連絡をください。



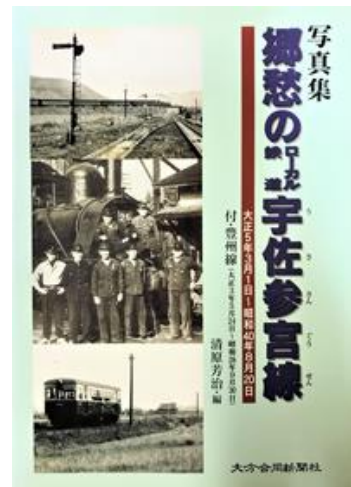
大分県別府レトロ地図
2,410円

戦後復興した昭和30年代(1955~1964年)の大分・別府両市中心市街地の懐かしい地図を再現。“遠くなった昭和”の「あの頃、あの時の思い出」がノスタルジックによりみえる。平成16年3月31日発行



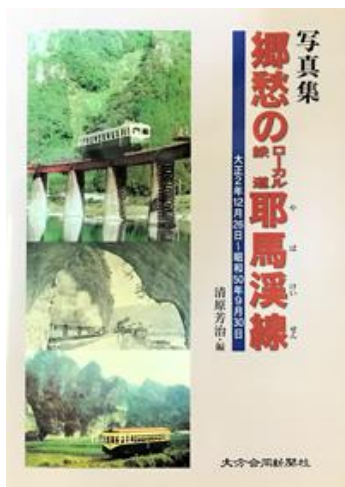
大分市・消えた町名
ーその由来と暮らしー
3,980円

久しく絶版となっていた「戦火で消えた大分市中心部復元絵図」を装いを改め発刊。焼夷爆撃で炎上し、消滅した焼失前の中心街を往時の雰囲気託して再現。生まれた町や無くなった町名を懐かしむ。平成9年4月発行



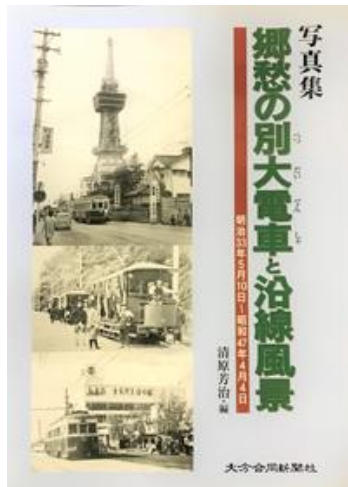
郷愁の宇佐参宮線
2,095円

J R日豊線の宇佐駅を中心に豊後高田市と宇佐神宮の間に走っていた軽便鉄道宇佐参宮線の写真を中心に、豊州線の写真や「昭和の町」で地域おこしに取り組んでいる豊後高田市の古い町並みの写真を掲載。平成15年7月25日発行



郷愁の耶馬溪線
2,095円

大分県内の私鉄の中で最も遅くまで残されたローカル線である耶馬溪線。観光地耶馬溪の名を全国に広め、沿線住民の足として、物資の運搬手段として耶馬溪線が果たした役割を写真で振り返る。平成16年9月10日発行



郷愁の別大電車沿線風景
2,619円

明治33年から昭和47年まで72年間の別大電車の歴史は大分県の近代化の歴史でもあった。幾度かの経営難を乗り越え、変わりゆく沿線の風景を眺めながら、ひたすら走り続けた電車の姿を一冊に。平成17年6月6日発行



四季の詩画集
2,095円

大分合同新聞社のイラストレーターとして活躍後、アーティストのユニークな視点でライフワークとして詩画制作に打ち込んだ。県内各地で開催された詩画展発表作品から抜粋された55作品を掲載。平成14年12月4日発行



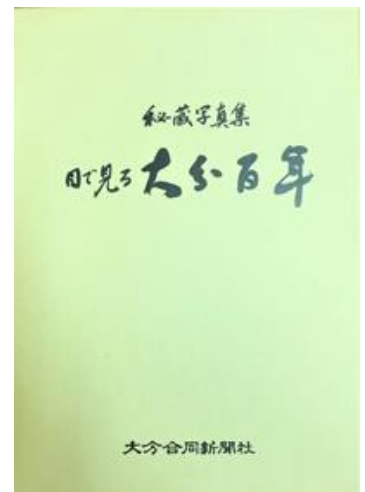
六郷満山物語 復刻
3,080円

仏の里の古刹・名刹巡り。大分の人々の心のふるさと「六郷満山」。四季折々の移ろいの中の一瞬のチャンス、一期一会を写真で切り取った30余りの寺院・仏閣をフルカラーで掲載。平成10年10月18日発行



大分の花と紅葉
2,619円

梅、菜の花、桜、しだれ桜、牡丹桜、チューリップ、ツツジ、アケボノツツジ、レンゲツツジ、ミヤマキリシマ、シヤクナゲ他、大分県内の花と紅葉の名所76カ所を取り上げ、写真と地図を掲載。平成15年2月25日発行



写真集 目で見える大分百年
16,762円

大分県民355人より提供された貴重な秘蔵写真に大分合同新聞社所蔵の報道用写真を加えた約15,000点の資料から1,200点を厳選。「県都・県政」「郷土と皇室」など11分野を年代別に配列 昭和61年6月10日発行



写真集 20世紀の記録
8,800円

「新聞はこの百年をどう伝えたか」有名無名のカメラマンたちによって記録された「報道写真」で政治や経済、環境、生活、文化、戦争、科学技術などが大きく変化した100年間を記録する。平成12年9月30日発行



大分県の戦後政治Ⅱ
2,619円

熾烈を極めた知事選や各種選挙の実態、社会党県連の分裂、民社党の誕生、労働組合の路線争い、県議会のポスト争いなど政界の深層と共に企業誘致や新産都建設など巨大プロジェクトの軌跡を克明に記述。平成12年10月10日発行



大分県の戦後政治Ⅲ
2,619円

国体の開催や新産都企業群の相次ぐ操業開始と続出する公害の実態、吹き荒れる住民運動、労働界の分裂、各政党の内幕、知事選や国政選挙の舞台裏、副知事や県教育長など県幹部人事の内情を赤裸々に描く。平成13年7月7日発行



大分県の戦後政治Ⅳ
2,619円

立木県政下の混迷から抜け出し、一村一品運動やハイテク企業の誘致などダイナミックな展開を見せる平松県政。その一方で多発する企業倒産と労働紛争、保守政界の派閥抗争と分裂劇の舞台裏を追う。平成15年3月3日発行



豊後の武将と合戦
2,410円

郷土の歴史をひもとくと、戦乱がたびたび地域をおおい、権力者や武将の興亡が繰り返されている。争乱の原因から結末までを興味深くさぐり、また興亡に死生をかけた武将の言動を想像しその哀歌を描く。平成12年2月15日発行



豊前豊後の幕末維新騒乱
2,200円

尊攘運動や討幕の動きに翻弄される豊後豊前の諸藩の苦悩など広瀬淡窓や帆足万里、毛利空桑、福沢諭吉ら当代一流の学者や思想家の動きをも織り交ぜた大分県と福岡県東部を舞台とする地域時代史。平成19年1月15日発行



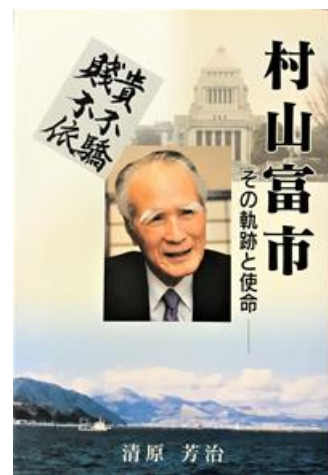
梅津美治郎と戦争の時代
2,200円

見習士官として日露戦争に出陣した梅津は、陸軍の中樞を歩み、2・26事件直後に陸軍次官として肅軍に手腕を発揮。さらに第一軍司令官から関東軍司令官、そして陸軍トップの参謀総長へ。その生涯を追う。平成20年1月15日発行



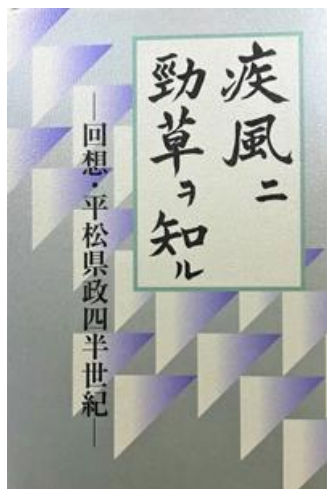
昭和二十年 慟哭の大分群像
2,619円

聖断による戦争終結に動く重光外相。御前会議で本土決戦を主張する阿南陸相、梅津参謀総長、豊田軍令部総長の3人の大分県出身者。歴史的な出来事に至る幾多の人間ドラマを書く。平成17年1月20日発行



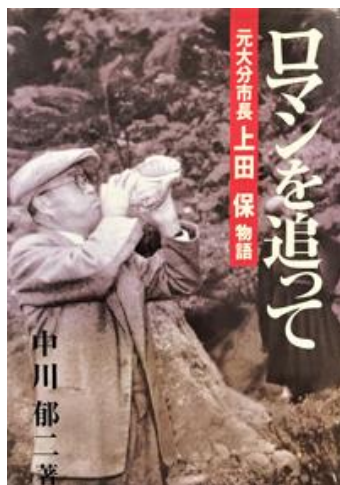
村山富市—その軌跡と使命—
2,095円

貧しい漁師の子どもに生まれた村山氏がなぜ総理大臣になったのか。戦後の政治状況を背景に、大分県政治風土や社会党の党内事情を絡めながら、「天命の政治家」村山氏の足跡と歴史的使命を描く。平成18年3月3日発行



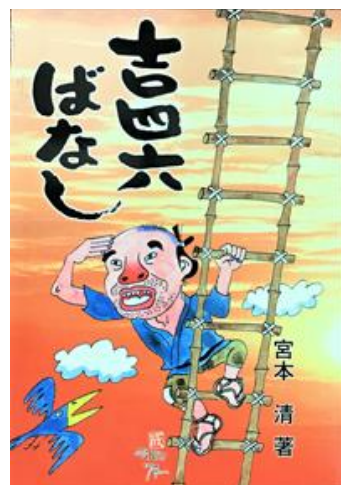
回想・平松県政四半世紀
1,571円

東京一極集中のすさまじい奔流に抗しながら地域活性化、県勢の浮揚を求めて、ひたすら走り続けた六期24年。知事退任後大分合同新聞に掲載された全40回の連載記事に一部加筆し、一冊にまとめる。平成20年1月15日発行



ロマンを追って
元大分市長・上田保物語
1,676円

高崎山自然動物園開園50周年記念出版。高崎山野生ザルの餌付け、世界初の回遊水槽水族館マリーンパレスなどを手掛けたアイデアマン市長である元大分市長上田保の生涯を描いた一代記。平成15年2月15日発行



改訂版 吉四六ばなし
1,760円

豊後の国(大分)に江戸時代から伝わる代表的なトンチ民話である吉四六ばなし。機知頓才に富み、人々に愛された好人物の200話を超える小話から読んでおもしろい話だけを厳選し108話にまとめた。平成18年12月15日発行



CD版 吉四六ばなし
1,650円

今から300年ほど昔、豊後国臼杵藩野津市(大分県臼杵市野津町)に実在した吉四六さん(実名・広田吉右衛門)。頓智に富み、多くの人々に愛された人物の面白おかしい豊後なまりの小話18話をCDに収録。



大分方言語録
1,430円

大分合同新聞朝刊に2010年2月1日から13年3月31日まで毎日一語ずつ連載した「教えて！ぶんぶん大分方言」を改編し、一冊にまとめたもの。約200語＆「大分方言かるた」を加筆し、計1,300語を収録。平成26年3月10日発行



大分の消えゆく民話
1,980円

消えゆく郷土の民俗文化遺産「怖い、面白い、むげねえ」民話集。昔、お爺さん、お婆さんから聞いた懐かしいふるさとの民話がいま消え去ろうとしている。いまこそ記録して後世に残し未来に語り継ぐ。平成19年1月30日発行



大分の文化に生きて
1,676円

深田光霊(詩吟)、池田萬龍(民謡)、筑紫香里(舞踊)、小長久子(オペラ)、仲町謙吉(洋画)。戦後大分の文芸活動で活躍した5人の生き様がよみがえる。その裏には血のにじむような努力と研鑽があった。平成13年8月31日発行



福沢諭吉の世界
3,667円

豊後中津藩(現大分県中津市)に生まれた福沢諭吉66年の生涯は、明治維新で半分に分けられる。前半の33年は封建体制下に、後半は近代化する日本に生きた。その生い立ちから最後までを描く。平成7年11月20日発行



夢かけた四季彩のまち
1,886円

大分県九重町の「九重」夢「大吊橋」。人口11,000人の小さな町で行政と町民が一丸となった一大事業が、わずか10カ月半で、観光客200万人を達成する真実のドラマを地元ベテラン記者が熱く描く。平成19年10月25日発行



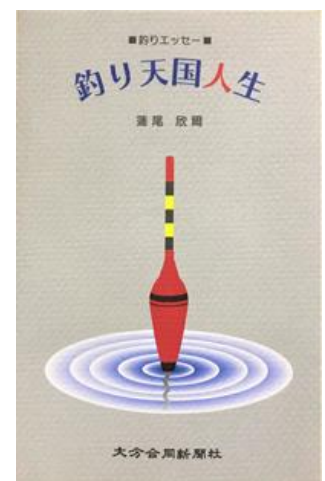
サバンナに生きる
1,676円

大分県宇佐市安心院町にある「九州自然動物公園アフリカンサファリ」。ライオン、トラ、キリン、シマウマ、サイ、躍動感あふれる野生動物が、繰り広げる生から死までを獣医師が記す生態観察記。平成17年3月30日発行



スケッチ 湯布院素描
2,410円

今やメジャーな観光地である湯布院の知る人ぞ知る伝説や逸話を、水彩の軽いタッチで描かれた素描とともに綴る。叙情歌の似合う「日本人の心のふるさと」の原風景湯布院の郷愁が漂う。平成18年3月9日発行



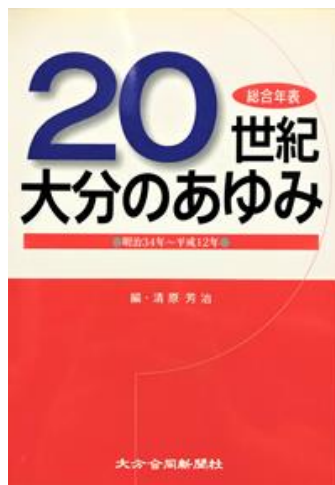
釣り天国人生
1,027円

釣り歴50年のベテラン釣りマニアが書いた失敗談いろいろ。芹川ダムのワカサギ、夜釣りする美少女、酒と魚と酔っ払いなど大分合同新聞の釣り随想欄に掲載された33編を一冊に。平成16年11月20日発行



大分県歴史人物事典
18,857円

人物事典は、各郡市などの地域史をはじめ、全県を網羅したものがいくつか出され、それぞれに貴重な価値があるが、今回の事典は古代から現代まで全県的にまとめたもの。
平成8年8月20日発行



総合年表
20世紀・大分のあゆみ
1,027円

近代化、大正ロマン、恐慌、戦争、食糧不足、戦災復興、高度経済成長…。その足取りを政治、経済、社会、事件・事故、文化・スポーツなどあらゆる分野にわたって網羅した県内初の近現代史年表。平成13年1月20日発行



じいちゃんも子供だった
1,257円

大分合同新聞に連載された長年、教職にあった著者が遠い少年の日々を追憶しながら、絵と文を綴った思い出の数々。穏やかな時の流れの中で温かな心が通い合った過ぎ去りし日の記憶が今、胸に蘇る。平成19年11月23日発行



思い出の平成皇室
～大分と天皇、皇后両陛下
2,200円

大分県内の約80カ所にお立ち寄り県民に忘れられない思い出を残された天皇、皇后両陛下。追い求めた「象徴天皇」の姿、戦災慰霊、被災地の訪問などを写真とともに記す。116Pカラー。平成31年4月2日発行

【お問い合わせ】

大分合同新聞社 データベース部

097-538-9616(平日9:30～16:30)

Mail : tyousa@oita-press.co.jp